



## ラジオを聞きながら史跡を巡る 第12回 IBCラジオ平泉ウォーク

町内の史跡を歩いて巡る「IBCラジオ平泉ウォーク」が6月2日、平泉文化遺産センターを発着点に開催されました。今年で12回目となる平泉ウォークには、県内外から約600人が参加。7キロと4キロのコースに分かれて毛越寺や中尊寺、観自在王院跡などの史跡を巡り、奥州藤原氏の歴史や文化を肌で感じました。ラジオからは、町内の歴史などを紹介する番組が放送され、参加者は快晴の青空の下、ラジオを聞きながら心地よい汗を流していました。



## 思いやりの心を育む 長島保育所などで人権の花運動

6月5日～7日、町内の学校などで人権の花運動が開催されました。この運動は、子どもたちが花を育てることを通して、協力することや命の尊さを考え、思いやりのある優しい心を育むことを目的としています。このうち長島保育所では6月6日に年長児が参加し、人権についての講話の後、人権擁護委員4人と一緒に3種類の花苗をプランターに植えました。園児たちは花苗を1株ずつ丁寧に植えた後、優しく水やりをしていました。

## 平泉の特産品をPR 道の駅国見で大交流フェスタ

福島県内外の道の駅や団体が集う「くにみ道の駅大交流フェスタ」が6月8日～9日、同県国見町の道の駅「国見あつかりの郷」で開催されました。歴史的な縁で国見町と交流のある当町も大交流フェスタに出展し、どぶろくや平泉リンゴワイン、からし肉まんなどさまざまな特産品を販売し、平泉の魅力をPRしました。会場には多くの来場者が詰めかけ、道の駅の名物グルメや各地の特産物などを買い求めていました。



## 感謝を込めて地域に奉仕 黄金荘利用者が周辺道路の清掃活動

障害者支援施設「黄金荘」の地域清掃活動が6月11日、同施設のある7区地内で実施されました。この活動は、日頃からお世話になっている地域への社会貢献の一環として毎年開催されています。この日は、施設利用者7人とスタッフ3人で作業を開始。往復約2キロの区間を約40分かけて歩き、沿道に落ちている空き缶やたばこの吸い殻などのごみを拾い、地域の人たちへ感謝の気持ちを込めながら清掃活動をしていました。

## 安全で安心なまちづくり 鍵かけ推進モデル地域指定書の交付式

5月17日、一関警察署において、鍵かけ推進モデル地域指定書の交付式がありました。当町では第10区長、第12区長が一関警察署長から指定書と鍵かけを呼び掛けるステッカーの交付を受けました。当町での鍵かけ推進モデル地域指定は、11行政区目となります。鍵かけは自分でできる防犯対策です。「少しの間だけなら大丈夫」など油断することなく、短時間の外出でも鍵をかけることを習慣付けましょう。



## 人権の擁護と普及に貢献 人権擁護委員の千葉博昭さん

5月16日、人権擁護委員の千葉博昭さん(16区)が全国人権擁護委員連合会長表彰を受賞しました。千葉さんは豊富な経験を生かし、人権擁護委員として特設人権相談所などにおいて、さまざまな悩みや心配事の相談に当たられると同時に、祭りなどのイベントの際にも人権の啓発活動などを行ってきました。委嘱された平成23年から現在まで人権擁護委員として活躍しており、これまでの功績が認められ、受賞されました。

## 田んぼに大きな絵を描く ライス・アート in ひらいずみ田植え体験

色の異なる稲で田んぼに絵や文字を描く「ライス・アート in ひらいずみ」の田植え体験(アグリ平泉主催)が5月25日、長島地区の大区画は場で開催されました。11年目を迎えた今年のテーマは「曲水の宴」。真夏を思わせる青空の下、参加した町民ら約240人は、収穫時の絵柄を思い浮かべながら4種類の有色稲を手植えました。ライス・アートは7月下旬に見頃を迎え、稲刈りが終わる10月下旬まで高館橋から眺めることができます。



## 地産地消を積極的に推進 平泉きらめきごはん大作戦

5月30日、町役場で地産地消推進事業「平泉きらめきごはん」推進店などへの認定証交付式が行われました。この事業は、町内産農畜産物やこれらを使った加工品を積極的に販売・活用する店舗や給食などで活用する施設、生産者などを町が認定し、地産地消を積極的に推進していくものです。今回認定されたのは、推進店や推進パートナーなど合わせて16の団体と個人で、今後は認定ロゴマークなどを活用しながら事業のPRを進めていきます。